

Osaka University of Human Sciences

令和8年度（2026年度）

3年次編入学 学生募集要項

人間科学部

社会創造学科

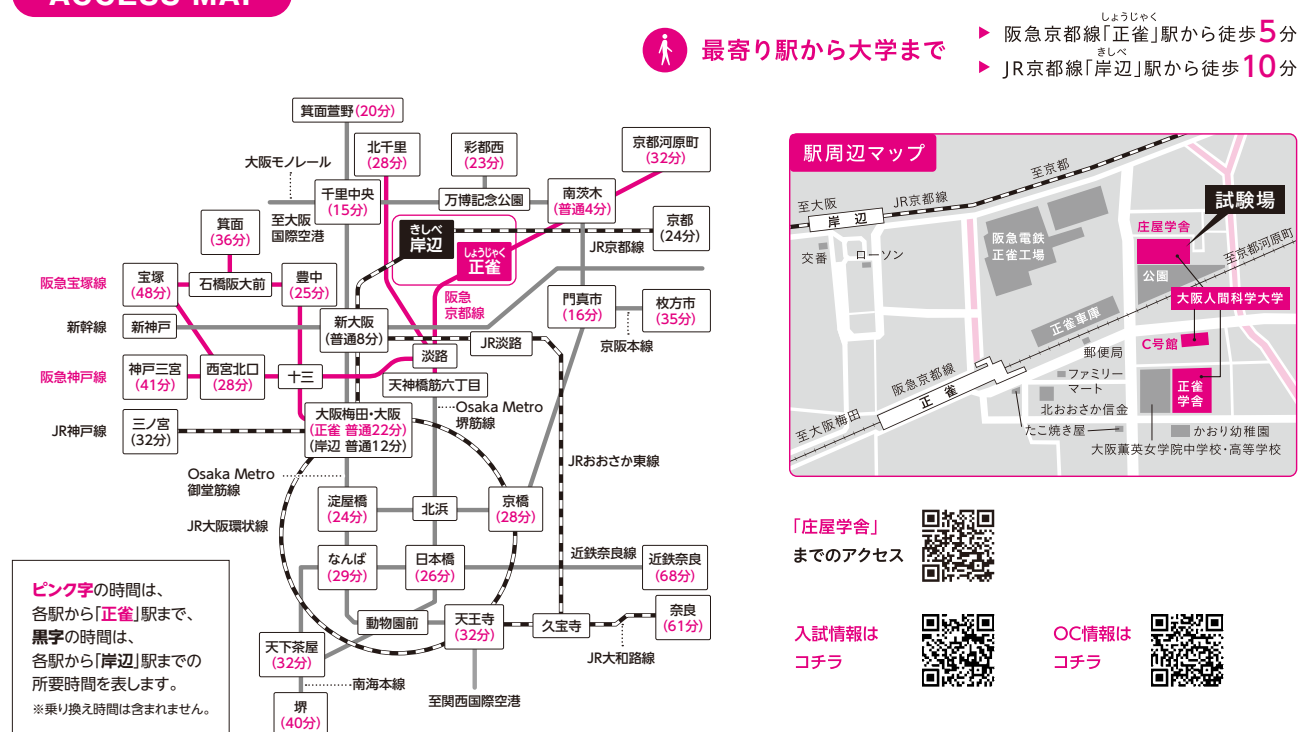
社会福祉学科

子ども教育学科

心理学部

心理学科

ACCESS MAP



成長に、本気。
大阪人間科学大学

〒566-8501 大阪府摂津市正雀1-4-1 TEL.06-6318-2020(入試広報センター) <https://www.ohs.ac.jp/>

学校法人 薫英学園
大阪人間科学大学

人間科学部
社会創造学科



現代社会に存在する課題とその構造を発見、解決に導くなど、新しい未来社会を創造する力やデザインを提案する力を養成

ソーシャルアントレプレナー<社会企業家>コース
ビジネス（イントレプレナー<社内起業家>）コース
ICT・データサイエンスコース
エンタメディアコース
公務員（行政職）コース
全コース共通
●社会福祉主事任用資格

人間科学部
社会福祉学科



社会福祉士及び精神保健福祉士の国家試験受験資格が取得可能

社会福祉コース
幅広い福祉の専門知識・技術を学び、社会福祉士を目指す。
●社会福祉士 国家試験受験資格
精神保健福祉コース
精神障がいの専門知識や援助技術を学び、精神保健福祉士を目指す。
●社会福祉士 国家試験受験資格 ●精神保健福祉士 国家資格受験資格
全コース共通
●社会福祉主事任用資格 ●児童福祉司任用資格
●身体障害者福祉司任用資格 ●知的障害者福祉司任用資格

- ※1 コースは入学後に選択します。
※2 介護福祉士 国家試験受験資格及びスクールソーシャルワーカー資格は3年次編入学で取得することはできません。
※3 社会福祉士 国家試験受験資格、精神保健福祉士 国家試験受験資格の両方の取得を希望する場合は、原則として3年間の在学が必要となります。
※4 精神保健福祉士 国家試験受験資格は最大40名取得可能です。
※5 児童福祉司任用資格取得には卒業後指定施設での実務経験（1年間）が必要ですが、社会福祉士国家試験若しくは精神保健福祉士国家試験に合格している場合は実務経験が不要となります。

人間科学部
子ども教育学科



保育者養成に特化したカリキュラムに、豊富な実習環境
実践力と専門知識を持つ保育士、幼稚園教諭、保育教諭へ

保育士・幼稚園教諭コース
保育所や幼稚園、認定こども園で行われる就学前の保育、幼児教育について、学びを専門的に深め、保育士、幼稚園教諭を目指す。
●保育士資格（国家資格） ●幼稚園教諭一種免許状
●社会福祉主事任用資格

- ※1 小学校教諭一種免許状及び児童厚生一級指導員は3年次編入学で取得することはできません。
※2 保育士資格又は幼稚園教諭一種免許状の取得を希望する場合は、原則として3年間の在学が必要となります。

心理学部
心理学科



対人関係、心身、社会を健康にする手段を学び、幅広い分野で心理学を活かせる人材へ
教員免許の取得も可能。国内初の心理系国家資格、公認心理師にも対応

マーケティング心理コース
心理学とマーケティングを融合的に学ぶ。
公認心理師コース
臨床の現場で活躍できる心理カウンセラーを目指す。
●公認心理師 国家試験受験資格※
※受験資格取得には、大学・大学院で所定の科目を修める必要があります。
特別支援教育・心理コース
ますます高まる特別支援ニーズに応える。
犯罪臨床心理学コース
犯罪の心理メカニズムや被害者ケアについて学ぶ。
カウンセリング心理学コース
より充実し生き生き働くための心理学を学ぶ。
全コース共通（公認心理師コースを除く）
●特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）
●高等学校教諭一種免許状（公民） ●中学校教諭一種免許状（社会）
●認定健康心理士 ●認定心理士

- ※1 コースは入学後に選択します。
※2 公認心理師 国家試験受験資格の取得を希望する場合は、原則として3年間の在学が必要となります。また、公認心理師 国家試験受験資格取得には、大学・大学院で所定の科目を修める必要があります。
※3 「公認心理師 国家試験受験資格(学部の要件)」は最大45名取得可能です。
※4 教員免許の取得を希望する場合は、原則として3年間の在学が必要となります。

専門教育科目の課程表 社会創造学科

授業科目の名称		単位数	授業科目の名称		単位数	授業科目の名称		単位数	授業科目の名称		単位数
	必修	選択		必修	選択		必修	選択		必修	選択
専門科目	社会創造学概論	2	専門科目	大衆文化論	2	専門科目	インスタクショナルデザイン	2	専門科目	データ分析Ⅱ（NVivo）	1
	社会学概論Ⅰ	2		知的財産法	2		参加型デザイン論	2		コンピュータ技術Ⅰ	1
	社会学概論Ⅱ	2		広告論	2		ライフデザイン論	2		コンピュータ技術Ⅱ	1
	文化人類学	2		マーケティング論	2		自己表現技術論	2		コンピュータ技術Ⅲ	1
	社会と文化	2		インターネットビジネス論	2		コミュニケーションデザイン論	2		コンピュータ技術Ⅳ	1
	社会とメディア	2		NPO とソーシャルビジネス	2		社会実践演習Ⅰ	1		コンピュータ技術Ⅴ	1
	地域社会学	2		情報科学	2		社会実践演習Ⅱ	1		コンピュータ技術Ⅵ	1
	産業社会学	2		情報ネットワーク論	2		社会実践演習Ⅲ（フィールドワーク）	1		コンピュータ技術Ⅶ	1
	社会調査演習	1		地域産業論	2		社会実践演習Ⅳ（インターンシップ）	1		コンピュータ技術Ⅷ	1
	法学	2		地域振興論	2		実践情報処理Ⅰ	1		社会表現演習Ⅰ	1
	行政学	2		流行科学論	2		実践情報処理Ⅱ	1		社会表現演習Ⅱ	1
	現代と社会	2		サブカルチャー論	2		実践情報処理Ⅲ	1		社会表現演習Ⅲ	1
	地域子育て支援社会論	2		ビジネスプランⅠ	2		実践情報処理Ⅳ	1		社会表現演習Ⅳ	1
	フィールドワーク論	2		ビジネスプランⅡ	2		実践情報処理Ⅴ	1		社会表現総合演習Ⅰ	1
	経済学	2		認知科学	2		写真・映像制作基礎	2		社会表現総合演習Ⅱ	1
	商学	2		論理的思考法	2		音声科学	2		社会創造学演習Ⅰ	4
	経営学	2		リスクコミュニケーション論	2		データベース概論	2		社会創造学演習Ⅱ	4
	簿記会計（応用）	2		メディアコンテンツ論	2		データ分析Ⅰ（SPSS）	1		卒業研究発表	2

※カリキュラムは変更となる場合があります。

専門教育科目の課程表 社会福祉学科

授業科目の名称		単位数	授業科目の名称		単位数	授業科目の名称		単位数	授業科目の名称		単位数
	必修	選択		必修	選択		必修	選択		必修	選択
専門科目	社会福祉の原理と政策Ⅰ	2	専門科目	社会保障論Ⅱ	2	専門科目	ソーシャルワーク演習（専門）Ⅳ	1	専門科目	医学一般Ⅰ	2
	社会福祉の原理と政策Ⅱ	2		貧困に対する支援	2		ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	1		医学一般Ⅱ	2
	ソーシャルワーク演習	1		現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	2		ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	1		医学一般Ⅲ	2
	ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ	1		現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	2		ソーシャルワーク実習	6		介護概論Ⅰ	2
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2		社会福祉史	2		精神保健福祉の原理Ⅰ	2		介護概論Ⅱ	2
	ソーシャルワークの基礎と専門職	2		精神医学と精神医療Ⅰ	2		精神保健福祉の原理Ⅱ	2		介護概論Ⅲ	2
	ソーシャルワークの基礎と専門職（専門）	2		精神医学と精神医療Ⅱ	2		ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅰ	2		認知症の理解Ⅰ	2
	高齢者福祉論	2		社会福祉調査の基礎	2		ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅱ	2		認知症の理解Ⅱ	2
	障害者福祉論	2		家庭支援論	2		精神障害リハビリテーション論	2		認知症と地域支援	2
	心理学と心理的支援	2		保健医療と福祉	2	専門科目	精神保健福祉制度論	2		障害児支援	1
	福祉フィールドワーク	1		福祉サービスの組織と経営	2		精神保健福祉援助演習Ⅰ	1		介護福祉経営	2
	介護技術入門	1		社会福祉特論Ⅰ	2		精神保健福祉援助演習Ⅱ	1		福祉支援機器とICT	2
	福祉とセクシャリティ	2		社会福祉特論Ⅱ	2		精神保健福祉援助演習Ⅲ	1		社会福祉学演習Ⅰ	4
	コミュニティ活動論	2		ケアマネジメント論	2		精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	1		社会福祉学演習Ⅱ	4
	権利擁護を支える法制度	2		ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2		精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	1			
	児童・家庭福祉論	2		ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	1		精神保健福祉援助実習指導Ⅲ	1			
	刑事司法と福祉	2		ソーシャルワークⅠ	2		精神保健福祉援助実習	5			
	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2		ソーシャルワークⅡ	2		スクールソーシャルワーク論	2			
	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2		ソーシャルワーク演習（専門）Ⅱ	1		人間関係Ⅱ	2			
	社会保障論Ⅰ	2		ソーシャルワーク演習（専門）Ⅲ	1		高齢者支援論	2			

※カリキュラムは変更となる場合があります。
※介護福祉士 国家試験受験資格及びスクールソーシャルワーカー資格は3年次編入学で取得することはできません。

専門教育科目の課程表 子ども教育学科

授業科目の名称		単位数	授業科目の名称		単位数	授業科目の名称		単位数	授業科目の名称		単位数
	必修	選択		必修	選択		必修	選択		必修	選択
専門科目	教育社会学	2	専門科目	かたちの表現Ⅰ	1	専門科目	教育実習指導Ⅱ（幼稚園）	1	専門科目	子どもの食と栄養Ⅰ	1
	教育心理学（幼・小）	2		かたちの表現Ⅱ	1		教育実習（幼稚園）	4		子どもの食と栄養Ⅱ	1
	学習・発達論	2		音楽と表現Ⅰ	1		保育実習Ⅰ	4		ことばの表現Ⅰ	1
	特別な支援を要する子どもの理解Ⅰ	1		音楽と表現Ⅱ	1		保育実習指導Ⅰ A	1		ことばの表現Ⅱ	1
	特別な支援を要する子どもの理解Ⅱ	1		保育内容総論	1		保育実習指導Ⅰ B（施設）	1		乳児保育Ⅰ	2
	教育相談の理論と方法	2		子どもと健康	1		保育実習指導Ⅰ B（保育所）	1		乳児保育Ⅱ	1
	保育・教職実践演習（幼・小）	2		子どもと人間関係	1		保育実習Ⅱ	2		子どもの健康と安全	1
	日本国憲法	2		子どもと環境	1		保育実習指導Ⅱ B	1		子育て支援	1
	教育原理（幼稚園）	2		子どもと言葉	1		保育原理	2		児童館の機能と運営	2
	教職概論（幼稚園）	2		子どもと表現Ⅰ	2		子ども家庭福祉	2		子ども教育学演習Ⅰ	4
	幼児教育課程論	2		子どもと表現Ⅱ	1		社会福祉	2		子ども教育学演習Ⅱ	4
	教育方法論	2		遊びの実践法Ⅰ	2		子ども家庭支援論	2			
	幼児理解の理論と方法	2		遊びの実践法Ⅱ	2		社会的養護Ⅰ	2			
	幼児体育Ⅰ	1		子どもと文化	2		社会的養護Ⅱ	1			
	幼児体育Ⅱ	1		音楽鑑賞Ⅰ	1		保育者論	2			
	人間関係	2		音楽鑑賞Ⅱ	1		保育の心理学	2			
	環境	2		地域と子ども学	2		子ども家庭支援の心理学	2			
	言葉	2		教育実習指導Ⅰ（幼稚園）	1		子どもの保健	2			

※カリキュラムは変更となる場合があります。
※小学校教諭一種免許状及び児童厚生一級指導員は3年次編入学で取得することはできません。

専門教育科目の課程表 心理学科

授業科目の名称		単位数	授業科目の名称		単位数	授業科目の名称		単位数	授業科目の名称		単位数
	必修	選択		必修	選択		必修	選択		必修	選択
専門科目	公認心理師の職責	2	専門科目	心理療法Ⅱ	2	専門科目	クリエイティブ心理学	2	専門科目	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2
	心理学概論	2		心理学基礎演習	2		ライフスタイル・イノベーション	2		教育方法論（情報通信技術の活用含む）	2
	臨床心理学概論	2		データサイエンス入門	2		ポジティブ心理学	2		生徒指導論（道路指導を含む）	2
	心理学研究法	2		健康教育概論	2		行動経済学	2		教育相談の理論と方法	2
	心理学統計法Ⅰ	2		多変量解析	2		マーケティング戦略論	2		特別支援教育	2
	心理学統計法Ⅱ	2		質的研究法	2		心理・マーケティング演習Ⅰ	2		知的障害者の心理・生理・病理	2
	心理学実験Ⅰ	2		心理学特殊講義Ⅰ	2		心理・マーケティング演習Ⅱ	2		肢体不自由者の心理・生理・病理	2
	心理学実験Ⅱ	2		心理学特殊講義Ⅱ	2		消費者行動論	2		病弱者の心理・生理・病理	2
	知覚・認知心理学	2		スポーツ心理学	2		デジタルマーケティング論	2		知的障害者の教育課程及び指導法	2
	学習・言語心理学	2		カウンセリング心理学	2		広告・ブランド研究	2		肢体不自由者の教育課程及び指導法	2
	感情・人格心理学	2		健康心理学	2		企業コーチング心理学	2		病弱者の教育課程及び指導法	2
	神経・生理心理学	2		グループ・ダイナミクス	2		職場のメンタルヘルス	2		知的障害教育総論	2
	社会・集団・家族心理学	2		ストレスマネジメント	2		心理学演習Ⅰ	4		肢体不自由教育総論	2
	発達心理学概論	2		社会心理学	2		心理学演習Ⅱ	4		病弱教育総論	2
	障害者・障害児心理学	2		対人援助の心理	2		日本国憲法	2		自閉症児の心理・生理・病理	2
	心理的アセスメント	2		対人行動論	2		経済学	2		障害児の教育と指導	2
	心理学的支援法	2		依存症臨床の心理学	2		法学	2		LD 等教育総論	2
	健康・医療心理学	2		DV とストーリーの心理	2		倫理学	2		発達障害論	2
	福祉心理学	2		刑罰の心理学	2		国際社会論	2		介護等体験	2

※カリキュラムは変更となる場合があります。

令和8年度(2026年度)入試トピックス

■ 社会人授業料特別減額制度

入試種別を問わず、入学年度の4月1日現在の年齢が満30歳以上、満44歳以下の入学者は年間授業料の半額、満45歳以上の入学者は年齢×10,000円(減額の上限は年間700,000円)を年間授業料から2年間減額します。詳しくはP.16を参照してください。

■ オープンキャンパス参加者検定料減額制度

オープンキャンパス参加者は、入試の検定料を5,000円減額します。

単位認定について

出身学部、学科を問わず、60単位を原則として一括認定します。

外国語に関しては、本学での編入学生については、1単位を卒業要件としており、その単位数を充たしていない場合には、編入学後に不足分を新たに履修することになりますが、それも2年間で十分に修得可能です。

募 集 人 員

学 部	学 科	募集人員	編入年次
人間科学部	社 会 創 造 学 科	若干名	第 3 年次
	社 会 福 祉 学 科	若干名	
	子ども教育学科	若干名	
心理学部	心 理 学 科	若干名	

令和8年度(2026年度)入試スケジュール

3 年次編入学試験

入 試 種 別	3年次編入学試験（Ⅰ期）	3年次編入学試験（Ⅱ期）
試 験 日	令和7年10月11日（土）	令和8年2月7日（土）
出 願 期 間	令和7年9月19日（金）～10月2日（木） （10月2日消印有効）	令和8年1月16日（金）～1月29日（木） （1月29日消印有効）
試 験 場	本 学（庄屋学舎）	
出 願 区 分	他大学との併願可	
選 考 方 法	小論文・面 接	
合 格 発 表	令和7年10月16日（木）	令和8年2月12日（木）
入 学 手 続	〈1次（入学金）〉令和7年10月24日（金）まで 〈2次（授業料等）〉令和7年11月7日（金）まで	〈1次（入学金）〉令和8年2月20日（金）まで 〈2次（授業料等）〉令和8年3月6日（金）まで

3 年次編入学試験（社会人）

入 試 種 別	3年次編入学試験（社会人 Ⅰ期）	3年次編入学試験（社会人 Ⅱ期）
試 験 日	令和7年10月11日（土）	令和8年2月7日（土）
出 願 期 間	令和7年9月19日（金）～10月2日（木） （10月2日消印有効）	令和8年1月16日（金）～1月29日（木） （1月29日消印有効）
試 験 場	本 学（庄屋学舎）	
出 願 区 分	他大学との併願可	
選 考 方 法	志望理由書・面 接	
合 格 発 表	令和7年10月16日（木）	令和8年2月12日（木）
入 学 手 続	〈1次（入学金）〉令和7年10月24日（金）まで 〈2次（授業料等）〉令和7年11月7日（金）まで	〈1次（入学金）〉令和8年2月20日（金）まで 〈2次（授業料等）〉令和8年3月6日（金）まで

3 年次編入学試験（ファミリー）

入 試 種 別	3年次編入学試験（ファミリー Ⅰ期）	3年次編入学試験（ファミリー Ⅱ期）
試 験 日	令和7年10月11日（土）	令和8年2月7日（土）
出 願 期 間	令和7年9月19日（金）～10月2日（木） （10月2日消印有効）	令和8年1月16日（金）～1月29日（木） （1月29日消印有効）
試 験 場	本 学（庄屋学舎）	
出 願 区 分	専 願	
選 考 方 法	志望理由書・面 接	
合 格 発 表	令和7年10月16日（木）	令和8年2月12日（木）
入 学 手 続	〈1次（入学金）〉免除 〈2次（授業料等）〉令和7年11月7日（金）まで	〈1次（入学金）〉免除 〈2次（授業料等）〉令和8年3月6日（金）まで

※外国人留学生入試等の特別入試については、入試広報センターに問い合わせてください。

※合否結果の照会は合格発表日の 18:00 から出願ページ（Post@net）で確認することができます。（P.13 参照）

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

本学では「建学の精神『敬・信・愛』を継承し、自立と共生の心を培う人間教育を行う」を教育理念とし、「課題解決能力と対人援助の専門知識・技術を持つ人間味豊かな人材の育成」を教育の目的としています。

これを実現するために、“求める学生像”と“身につけておくことが望ましい素養”を公表し、入学後の教育との関連性を十分に踏まえた選考を行うことにより、受験者の主体的な意欲を重んじつつ能力・適性を多面的に評価します。

人間科学部

求める学生像

- 1.好奇心が強く、自ら学ぶ意欲と向上心をもっている人
- 2.異なる意見にも耳を傾け、豊かな人間関係が作れる人
- 3.体験することの重要性を認識し、積極的に社会参加する人
- 4.本学で学ぶことを強く希望し、将来、社会の幅広い分野で活躍したいと考えている人

身につけておくことが望ましい素養

1. 対人援助の専門職を目指す上で必要となる、コミュニケーション能力を有していること
2. 上記のコミュニケーション能力の基礎となる語学力（国語力）を有していること
3. 論文・レポート・実習日誌等を作成するための表現力の基礎や、専門書等の文献の読解力の基礎を身につけておくことが望ましいので、国語全般にわたり、十分な基礎学力を有していること

【社会創造学科】

1. 現代社会を理解し、社会課題を発見・解決する力を身につけようとする人
2. 自らの知識技術だけでなく人間性も活かして、社会あるいは他者へ貢献する意欲を持つ人
3. 思いやりの気持ちがあり、人や社会の役に立ちたいと強く思う人
4. 新しい社会の在り方や新しい価値を作り出そうとする人

【社会福祉学科】

1. 一人ひとりの住民と、その人々を取り巻く生活環境との間で生じる生活課題を解決するための基盤となる、福祉・介護に関する基礎知識あるいは社会の問題を読解する力を身につけようとする人
2. 多様な個人の幸福の追求を支える、誰にとっても生きやすい社会の幸福とは何かを考え、考えた結果を他者に伝える力を身につけようとする人
3. 自らの知識技術だけでなく人間性も活かして支援を行う意欲と、地域社会あるいは他者へ貢献する意欲を持つ人
4. 将来、社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、スクールソーシャルワーカー資格の取得を希望し、福祉の専門職として活躍する意欲を有する人

【子ども教育学科】

1. 人間に対する深い愛情に基づき、また言語的コミュニケーションを大切にしながら、自己理解及び他者理解を深めていける人
2. 子どもを取り巻く環境に強い関心を持ち、保育・教育に関する専門的知識や技能を学修し、将来、保育、初等教育（幼児教育含む）等、子どもに関する職業に就きたいと考えている人
3. 人間そのものや人間の育ちを科学的に理解しようとする態度を身につけようとしている人
4. 人のために労を惜しまず、自ら主体的に動くことができ、広く社会に貢献したいと望んでいる人

心理学部

求める学生像

- 1.好奇心が強く、自ら学ぶ意欲と向上心をもっている人
- 2.異なる意見にも耳を傾け、豊かな人間関係が作れる人
- 3.体験することの重要性を認識し、積極的に社会参加する人
- 4.本学で学ぶことを強く希望し、将来、「心理および教育」等の分野で活躍したいと考えている人

身につけておくことが望ましい素養

- 1.対人援助の専門職を目指す上で必要となる、コミュニケーション能力を有していること
- 2.上記のコミュニケーション能力の基礎となる語学力（国語力）を有していること
- 3.論文・レポート・実習日誌等を作成するための表現力の基礎や、専門書等の文献の読解力の基礎を身につけておくことが望ましいので、国語全般にわたり、十分な基礎学力を有していること

【心理学科】

- 1.人々の心の健康の回復・維持・増進に関心を持ち、心の健康に関する科学的知識の修得を強く希望している人
- 2.自己を成長させ、可能性・視野をひろげたい人
- 3.公認心理師や教職等の資格の取得を目指して専門的技能習得に努力する人
- 4.社会病理と非行・犯罪などの逸脱行動について関心を持つ人
- 5.ビジネスにおいて顧客とのコミュニケーションを通して価値を創造（マーケティング）していける人

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

人間科学部

- 1.人間・社会への幅広い理解と、その中で自らの果たすべき役割を認識できるように、人間科学の学際的特徴を活かした基礎科目を設置している。
- 2.対人援助分野で将来活躍できるように、資格取得に軸をおいた充実した専門科目を設置している。
- 3.基礎学力から専門的技術までを着実に身につけられるように、1～4年次を通してのゼミ配置等少人数教育を重視している。
- 4.課題解決能力・コミュニケーション能力を身につけられるように、演習・実習を中心とした実践的な教育を重視している。

【社会創造学科】

1. 基礎科目を中心に対人援助の専門職業人への理解を深め、専門科目において社会を理解し、課題発見・解決を実践するための科目と新しい社会を提案・表現するための科目を編成している。

2. 社会課題を捉えるために必要となる現代社会の仕組みや構造を理解するための科目と、問題を構成している要素を可視化しそれらの関連性を組み替えることで解決法を見出す科目を配置している。
3. 創造的に思考して課題解決し、未来型社会を構想・デザインして提言するための表現能力育成のための科目を配置している。
4. 低年次から学際的学問の演習科目配置により科目横断的な学びを可能にすることで、創造的で柔軟な実践力を養成する理論と実践を往還できるカリキュラムを編成している。

【社会福祉学科】

- 1.「福祉マインド」「社会福祉学固有の能力」「市民性」を身につけるために、文献読解や支援技術の修得に特化した少人数制の演習・実習科目を配置して、自己覚知や他者理解を含めた内面的成長までも視野に入れて科目を編成している。
- 2.社会の変化の中で生じている多様な自立の困難を示す課題に対して、社会福祉で実現すべき価値が提起できるよう、その力を養成できる科目を編成している。
- 3.「福祉マインド」を持った市民として、個人の尊厳や多様性を尊重しつつ、社会の連帯に基づいた共生社会の実現に貢献できることを目指すために、必要な基礎力が修得できるよう科目を編成している。

【子ども教育学科】

- 1.保育者・教育者として求められる基礎基本を培う理論系の専門科目に関しては、学修効果が最適となるよう配当年次を考慮して設置している。
- 2.保育者・教育者としての実践的指導や援助方法を身につけるための保育内容系科目、小学校教科目、また技術系科目を少人数の演習形態で設置している。
- 3.保育実習や教育実習等の学外実習指導を段階的、計画的に実施し、その事前事後指導の充実を図る科目を設置している。
- 4.基礎的技術と理論の学修を交互に実施し、学修した基礎的技術に基づき理論を学修できる、そして学修した理論から基礎的技術をさらに高めていく、こうした往還的な学修が可能なカリキュラムを編成している。
- 5.保育・教育実践の中で学修した知見や課題を、学修者相互で学びあうことができる科目を編成している。

心理学部

- 1.人間・社会への幅広い理解と、その中で自らの果たすべき役割を認識できるように、人間科学の学際的特徴を活かした基礎科目を設置している。
- 2.心理専門職として、あるいは教師として将来活躍できるように、資格取得に軸をおいた充実した専門科目を設置している。
- 3.基礎学力から専門的技術までを着実に身につけられるように、1～4年次を通してのゼミ配置等少人数教育を重視している。
- 4.課題解決能力・コミュニケーション能力を身につけられるように、演習・実習を中心とした実践的な教育を重視している。

【心理学科】

- 1.学際的に幅広く学び、心理学的な視点と思考力を身につけるための講義・演習を中心としたカリキュラムを編成している。
- 2.科学的方法論を学び、実践的な課題解決能力とコミュニケーション能力を身につけるための現場に即した学内・外実習を設置している。
- 3.心理専門職に必要な基礎から専門的知識までを着実に身につけられるように、少人数教育を重視する。
- 4.公認心理師を目指す人、教職を目指す人、心理系資格取得を目指す人等のために、各種資格取得可能な科目を設置している。

ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

人間科学部

- 1.社会で活躍・貢献しうる職業人として、人間・社会への幅広い理解を踏まえた専門的な知識・技術を身につける。
- 2.自立した自己と他者への寛容さに根ざした、実践的な課題解決能力とコミュニケーション能力を身につける。
- 3.共生社会の実現を目指し、チャレンジ精神を持った豊かな人間性を身につける。

【社会創造学科】

- 1.現代社会を理解し、その中に存在する社会課題を発見・解決するために「他者理解の姿勢」と「課題発見・解決能力」を身につける。
- 2.様々な専門職業人と協働するために「つながる力・結び付ける力」を身につける。
- 3.新しい未来型社会を提案できる「創造的思考力」と「構想・デザイン力」、「発信・表現力」といった「多彩な表現力」を身につける。

【社会福祉学科】

- 1.個人の幸福の追求を支える、誰にとっても生きやすい社会の幸福を追求し、人間の尊厳や共生社会などの価値を踏まえて自ら行動する「福祉マインド」を身につける。
- 2.対人援助において、社会福祉が実現すべき価値・理念が提起できるよう、「ソーシャルワーカー・ケアワーカー(社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士・スクールソーシャルワーカー)として求められる能力」を身につける。
- 3.社会の公共的課題解決に向けて、さまざまな活動に積極的に参加し、多様な価値観のもとで連携を進められる「市民性」を身につける。

【子ども教育学科】

- 1.確固たる基礎基本に基づき、保育・教育を実践する力を身につける。
- 2.一人ひとりの子どもの成長・発達を援助する知識・技術を獲得している。
- 3.専門職意識を醸成し、保育・教育を創造・探究し続け、自らの言葉で語ることができる。
- 4.保育・教育を取り巻く課題の解決に向けて、連携・協働する力を身につける。
- 5.「子どもの最善の利益」を追求し続ける精神を獲得している。

心理学部

- 1.社会で活躍・貢献しうる職業人として、人間・社会への幅広い理解を踏まえた専門的な知識・技術を身につける。
- 2.自立した自己と他者への寛容さに根ざした、実践的な課題解決能力とコミュニケーション能力を身につける。
- 3.共生社会の実現を目指し、チャレンジ精神を持った豊かな人間性を身につける。

【心理学科】

- 1.自分自身や他者の心の健康の回復・維持・増進に貢献できる心理学の知識と能力を身につける。
- 2.実践的な課題解決能力とコミュニケーション能力を身につける。
- 3.自分で設定した課題を科学的視点から総合的にまとめる能力を身につける。
- 4.心理専門職として幅広い知識と技能を身につける。

3年次編入学試験

出願資格・条件

次の①～⑥のいずれかに該当する者で、⑦を充たす者

①大学を卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者

②大学に2年以上在学し、62単位以上を修得した者及び令和8年3月に大学に2年以上在学し、62単位以上を修得見込みの者

③短期大学を卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者

④高等専門学校を卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者

⑤高等学校の専攻科、中等教育学校の後期課程の専攻科及び特別支援学校の専攻科(修業年限2年以上で、その他の文部科学大臣の定める基準を充たす者に限る。)を修了した者及び令和8年3月修了見込みの者

⑥専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を充たす課程(修業年限2年以上で、総授業時間数1,700時間以上)を修了した者及び令和8年3月修了見込みの者、ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る。

⑦本学のアドミッション・ポリシー(入学者受入方針)を十分に理解している者

入 試 日 程

入試種別	出願期間	試験日	試験場	集合時間
I 期	令和7年9月19日(金)～10月2日(木) (10月2日消印有効)	令和7年10月11日(土)	本 学 (庄屋学舎)	12:40までに着席
II 期	令和8年1月16日(金)～1月29日(木) (1月29日消印有効)	令和8年2月7日(土)		

選 考 方 法

本学が実施する小論文の得点及び面接の得点による集計点で合否を判定します。

選考方法	配 点	内 容	時 間
小 論 文	100点	課題文方式	13:00～14:10
面 接	100点	個人面接	14:30から順次実施

小論文について

科 目	方 式	内 容
小論文	課題文方式	試験当日に発表される課題文を読み、それに関連するテーマについて、600字以上800字以内で記述する。(句読点及び段落のための余白も字数に含む。)

面接について

受験者1名に対し、本学の担当者2名の個人面接(30分程度)です。

なお、スポーツ・文化活動やボランティア活動などの諸活動、制作物など、その実績、資格、特技等をアピールするものがあれば、面接において示すことも可能です。

出 願 書 類

P.9～12を参照し、出願登録の完了、検定料を支払った後、下記の①～④を市販の角2封筒に入れ、封筒貼付用宛名ラベルを貼り付けて、簡易書留の速達で郵送してください。

- ①入 学 志 願 票 インターネット出願サイト(Post@net)から印刷したもの。
- ②卒 業 証 明 書 出身学校の卒業証明書
卒業見込みの場合は、卒業見込証明書、大学に2年以上在学し、62単位以上を修得見込みの場合は、在学証明書を提出してください。
- ③成 績 証 明 書 出身学校の成績証明書
大学に2年以上在学し、62単位以上を修得見込みの場合は、単位修得見込証明書も併せて提出してください。
- ④受験資格証明書
(出願資格条件⑥又は⑦該当者のみ)
本学所定の用紙*で文部科学大臣が定める基準を充たす課程を修了したこと、又は修了見込みであることを校長名で証明する証明書を提出してください。
- *本学所定の用紙については本学ホームページからダウンロードしてください。

合 格 発 表

合否結果の照会は合格発表日の18:00から出願ページ(Post@net)で確認することができます。

合格者には「合格通知書」及び「入学手続書類」を送付します。不合格については出願ページ(Post@net)上の合否結果照会での発表をもってこれに代えますので、不合格通知書の送付は行いません。

入試種別	合格発表	
I 期	令和7年10月16日(木)	
II 期	令和8年2月12日(木)	

入 学 手 続

下記の納入期限までに、所定の入学手続時納入金を納入してください。(P.15参照)

なお、納入方法及び手続書類の提出の詳細については、入学手続書類送付の際にお知らせします。

入試種別	種 別	納入期限
I 期	1次(入 学 金)	令和7年10月24日(金)まで
	2次(授 業 料 等)	令和7年11月7日(金)まで
II 期	1次(入 学 金)	令和8年2月20日(金)まで
	2次(授 業 料 等)	令和8年3月6日(金)まで

3年次編入学試験(社会人)

■出願資格・条件

- 次の①又は②の条件を充たし、③～⑧のいずれかに該当する者で、⑨を充たす者
- ①令和8年4月1日現在において満24歳以上で、社会人として2年以上の経験を有する者
 - ②本学において①と同等以上の資格があると認めた者
 - ③大学を卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者
 - ④大学に2年以上在学し、62単位以上を修得した者及び令和8年3月に大学に2年以上在学し、62単位以上を修得見込みの者
 - ⑤短期大学を卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者
 - ⑥高等専門学校を卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者
 - ⑦高等学校の専攻科、中等教育学校の後期課程の専攻科及び特別支援学校の専攻科(修業年限2年以上で、その他の文部科学大臣の定める基準を充たす者に限る。)を修了した者及び令和8年3月修了見込みの者
 - ⑧専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を充たす課程(修業年限2年以上で、総授業時間数1,700時間以上)を修了した者及び令和8年3月修了見込みの者、ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る。
 - ⑨本学のアドミッション・ポリシー(入学者受入方針)を十分に理解している者

■入 試 日 程

入試種別	出願期間	試験日	試験場	集合時間
I 期	令和7年9月19日(金)～10月2日(木) (10月2日消印有効)	令和7年10月11日(土)	本 学 (庄屋学舎)	集合時間は、受験者ごとに異なります。
Ⅱ期	令和8年1月16日(金)～1月29日(木) (1月29日消印有効)	令和8年2月7日(土)		デジタル受験票送付時に受験者個々に通知します。

■選 考 方 法

出願時に提出する志望理由書の得点及び本学が実施する面接の得点による集計点で可否を判定します。

選考方法	配 点	内 容	時 間
志望理由書	50点	※下記参照	—
面 接	100点	個人面接	面接の開始時間は、受験者個々に通知

■志望理由書について

志望する学科の教育内容や、アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)を十分に理解した上で、「目指す進路」や「これまでの学習活動や社会人としての経験や実績」について、これまでの様々な経験から身に付けてきた知識や技術、姿勢や態度等が将来の目標実現に向けてどう結びつくかを考えて作成してください。

■面 接 に つ い て

受験者1名に対し、本学の担当者2名の個人面接(30分程度)です。
なお、スポーツ・文化活動やボランティア活動などの諸活動、制作物など、その実績、資格、特技等をアピールするものがあれば、面接において示すことも可能です。

■出 願 書 類

P.9～12を参照し、出願登録の完了、検定料を支払った後、下記の①～⑥を市販の角2封筒に入れ、封筒貼付用宛名ラベルを貼り付けて、簡易書留の速達で郵送してください。

- ①入 学 志 願 票 インターネット出願サイト(Post@net)から印刷したもの。
- ②卒 業 証 明 書 出身学校の卒業証明書
卒業見込みの場合は、卒業見込証明書、大学に2年以上在学し、62単位以上を修得見込みの場合は、在学証明書を提出してください。
- ③成 績 証 明 書 出身学校の成績証明書
大学に2年以上在学し、62単位以上を修得見込みの場合は、単位修得見込証明書も併せて提出してください。
- ④受験資格証明書 本学所定の用紙*で文部科学大臣が定める基準を充たす課程を修了したこと、又は修了見込みであることを校長名で証明する証明書を提出してください。
(出願資格条件⑤又は⑥該当者のみ)
- ⑤履 歴 書 本学所定の用紙*に必要事項をすべて正確に記入してください。
- ⑥志 望 理 由 書 本学所定の用紙*を使用してください。

*本学所定の用紙については本学ホームページからダウンロードしてください。

■合 格 発 表

可否結果の照会は合格発表日の18:00から出願ページ(Post@net)で確認することができます。
合格者には「合格通知書」及び「入学手続書類」を送付します。不合格については出願ページ(Post@net)上の可否結果照会での発表をもってこれに代えますので、不合格通知書の送付は行いません。

入試種別	合格発表
I 期	令和7年10月16日(木)
Ⅱ期	令和8年2月12日(木)

■入 学 手 続

下記の納入期限までに、所定の入学手続時納入金を納入してください。(P.15参照)
なお、納入方法及び手続書類の提出の詳細については、入学手続書類送付の際にお知らせします。

入試種別	種 別	納入期限
I 期	1次(入 学 金)	令和7年10月24日(金)まで
	2次(授 業 料 等)	令和7年11月7日(金)まで
Ⅱ期	1次(入 学 金)	令和8年2月20日(金)まで
	2次(授 業 料 等)	令和8年3月6日(金)まで

3年次編入学試験(ファミリー)

■出願資格・条件

- 次の①～⑥のいずれかに該当する者で、⑦～⑨を充たす者
- ①大学を卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者
 - ②大学に2年以上在学し、62単位以上を修得した者及び令和8年3月に大学に2年以上在学し、62単位以上を修得見込みの者
 - ③短期大学を卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者
 - ④高等専門学校を卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者
 - ⑤高等学校の専攻科、中等教育学校の後期課程の専攻科及び特別支援学校の専攻科(修業年限2年以上で、その他の文部科学大臣の定める基準を充たす者に限る。)を修了した者及び令和8年3月修了見込みの者
 - ⑥専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を充たす課程(修業年限2年以上で、総授業時間数1,700時間以上)を修了した者及び令和8年3月修了見込みの者、ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る。
 - ⑦本学のアドミッション・ポリシー(入学者受入方針)を十分に理解している者
 - ⑧志願者本人が薫英学園の卒業生(幼稚園を除く。)又は3親等以内の親族に薫英学園の卒業生(幼稚園を除く。)若しくは在学生(幼稚園を除く。)がいる者で、本学の「建学の精神」を理解している者
 - ⑨合格すれば必ず本学に入学する者

■入 試 日 程

入試種別	出願期間	試験日	試験場	集合時間
I 期	令和7年9月19日(金)～10月2日(木) (10月2日消印有効)	令和7年10月11日(土)	本 学 (庄屋学舎)	集合時間は、受験者ごとに異なります。
Ⅱ期	令和8年1月16日(金)～1月29日(木) (1月29日消印有効)	令和8年2月7日(土)		デジタル受験票送付時に受験者個々に通知します。

■選 考 方 法

出願時に提出する志望理由書の得点及び本学が実施する面接の得点による集計点で可否判定します。

選考方法	配 点	内 容	時 間
志望理由書	50点	※下記参照	—
面 接	100点	個人面接	面接の開始時間は、受験者個々に通知

■志望理由書について

志望する学科の教育内容や、アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)を十分に理解した上で、「目指す進路」や「これまでの学習活動や課外活動」について、これまでの様々な経験から身に付けてきた知識や技術、姿勢や態度等が将来の目標実現に向けてどう結びつくかを考えて作成してください。

■面 接 に つ い て

受験者1名に対し、本学の担当者2名の個人面接(30分程度)です。
なお、スポーツ・文化活動やボランティア活動などの諸活動、制作物など、その実績、資格、特技等をアピールするものがあれば、面接において示すことも可能です。

■出 願 書 類

P.9～12を参照し、出願登録の完了、検定料を支払った後、下記の①～⑥を市販の角2封筒に入れ、封筒貼付用宛名ラベルを貼り付けて、簡易書留の速達で郵送してください。

- ①入 学 志 願 票 インターネット出願サイト(Post@net)から印刷したもの。
- ②卒 業 証 明 書 出身学校の卒業証明書
卒業見込みの場合は、卒業見込証明書、大学に2年以上在学し、62単位以上を修得見込みの場合は、在学証明書を提出してください。
- ③成 績 証 明 書 出身学校の成績証明書
大学に2年以上在学し、62単位以上を修得見込みの場合は、単位修得見込証明書も併せて提出してください。
- ④受験資格証明書 本学所定の用紙*で文部科学大臣が定める基準を充たす課程を修了したこと、又は修了見込みであることを校長名で証明する証明書を提出してください。
(出願資格条件⑤又は⑥該当者のみ)
- ⑤続柄についての申告書 本学所定の用紙*に必要事項をすべて正確に記入してください。
- ⑥志 望 理 由 書 本学所定の用紙*を使用してください。

*本学所定の用紙については本学ホームページからダウンロードしてください。

■合 格 発 表

可否結果の照会は合格発表日の18:00から出願ページ(Post@net)で確認することができます。
合格者には「合格通知書」及び「入学手続書類」を送付します。不合格については出願ページ(Post@net)上の可否結果照会での発表をもってこれに代えますので、不合格通知書の送付は行いません。

入試種別	合格発表
I 期	令和7年10月16日(木)
Ⅱ期	令和8年2月12日(木)

■入 学 手 続

下記の納入期限までに、所定の入学手続時納入金を納入してください。(P.15参照)
なお、納入方法及び手続書類の提出の詳細については、入学手続書類送付の際にお知らせします。

入試種別	種 別	納入期限
I 期	1次(入 学 金)	免 除
	2次(授 業 料 等)	令和7年11月7日(金)まで
Ⅱ期	1次(入 学 金)	免 除
	2次(授 業 料 等)	令和8年3月6日(金)まで

インターネット出願の流れ

STEP1

出願に必要な書類などを準備

卒業証明書	出身学校の卒業証明書。卒業見込みの場合は、卒業見込証明書、大学に2年以上在学し、62単位以上を修得見込みの場合は、在学証明書を提出してください。
成績証明書	出身学校の成績証明書。大学に2年以上在学し、62単位以上を修得見込みの場合は、単位取得見込証明書も併せて提出してください。
写真データ	出願登録を行う際、受験者本人であることを証明できる顔写真データのアップロードが必要です。 出願登録前にデジタルカメラ・スマートフォン（写真データのダウンロードや取得ができるもの）等で撮影し、顔写真データを準備してください。 ●出願前3か月以内に撮影したもの ●上半身・無帽・無背景（白・青・グレーを基調とした無地の壁） ●正面向きの写真 ●縦:600px(ピクセル)×横:450px(ピクセル) ●写真データ形式は「JPEG」（ファイル拡張子はjpg） ●写真サイズは100KB以上3MB以下
その他	各入試種別で必要な出願書類を準備してください。

※入試種別により、必要な書類が異なります。

出願に必要な書類に関しては、本要項又は本学ホームページで確認してください。

※本学所定の用紙については、本学ホームページからダウンロードしてください。

STEP2

アカウント作成、出願登録を行う



●大阪人間科学大学トップページ

<https://www.ohs.ac.jp/>



【アカウント作成】

- ① 本学ホームページにアクセスしてください。
- ② 「インターネット出願サイト」にある「出願ページへ」をクリックして出願ページ(Post@net)を開きます。
- ③ 出願ページ(Post@net)のログイン画面より「新規登録」ボタンをクリックしてください。
- ④ 利用規約に同意後、メールアドレス・パスワード・ニックネームを入力して「登録」ボタンをクリックしてください。
- ⑤ 入力したメールアドレスに、仮登録メールが届きます。
仮登録メールの受信から60分以内にメール本文のリンクをクリックして登録を完了させてください。

※ 既にアカウントを発行している場合はメールアドレスとパスワードでログインすることができます。

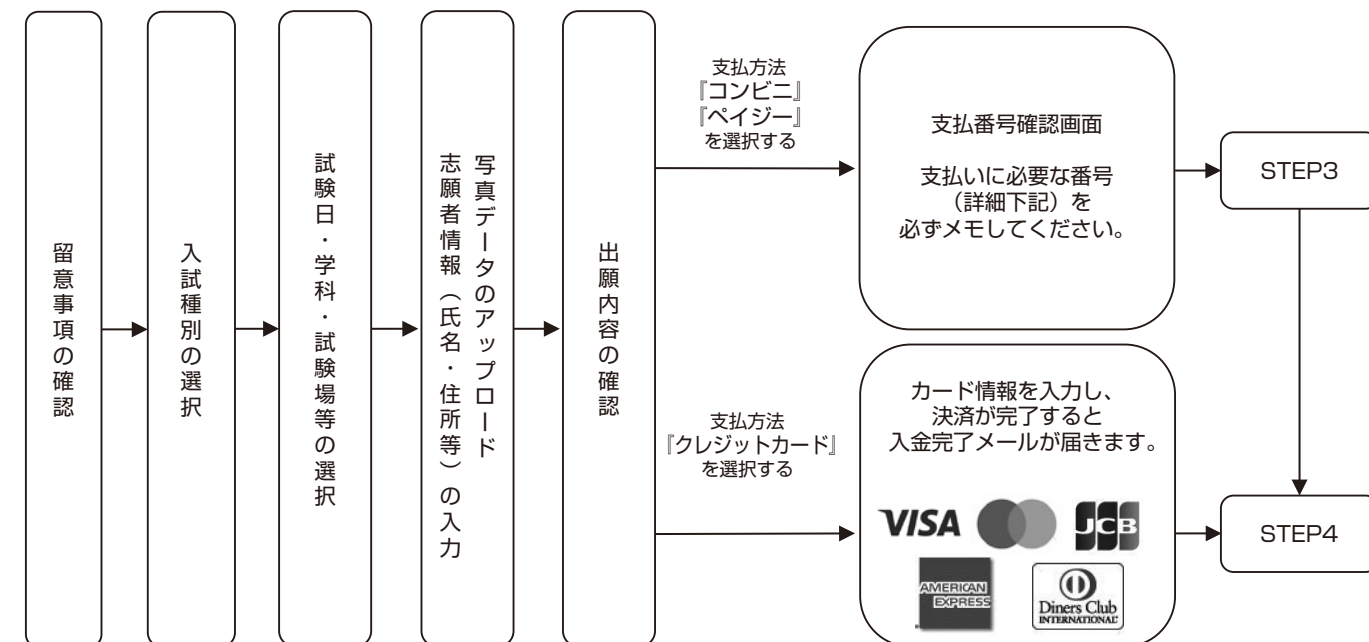


インターネット出願の流れ

- 出願ページ（Post@net）のトップ画面にある「ログイン」ボタンをクリックし、メールアドレスとパスワードを入力します。
登録したメールアドレスに認証コードが届きますので、入力しログインしてください。
- 「学校一覧」から「大阪人間科学大学」を検索してください。その際に「お気に入り登録」ボタンをクリックしてお気に入り登録をしてください。

【出願登録】

『出願登録』ボタンをクリックし、画面の指示に従って登録してください。



- ・写真データについて
写真データのアップロードを行う際には、データ形式の確認を行った上で（P.9 **STEP1** 参照）、必要なチェック項目を登録してください。
- ・検定料について
支払金額は、入試種別やオープンキャンパスへの参加の有無によって異なります。画面の案内に沿って確認してください。
- ・オープンキャンパス参加者への検定料5,000円減額制度について
入試種別選択ページにて入試種別を選択後、「オープンキャンパス参加者検定料減額制度を利用する」欄にチェックしてください。
検定料減額制度番号を入力すると、検定料を5,000円減額します。
- ・薫英学園の卒業生（幼稚園を除く。）については、検定料を免除します。

POINT①

志願者情報の入力・確認画面では、必ず入力した内容（特に生年月日・電話番号・住所）に誤りがないか、十分に確認してください。志願者情報の確認画面を過ぎると内容の変更ができません。
修正が必要な場合は入試広報センターにお問い合わせください。
なお、コンビニ・ペイジー支払いの場合、検定料を支払う前であれば既に登録した出願情報を放棄し、もう一度、最初から出願登録を行ってください。

POINT②

支払い方法『コンビニ』『ペイジー』の場合は、支払番号確認画面に支払いに必要な番号が表示されます。
STEP3（P.11）の支払い時に必要ですので、必ずメモしてください。



インターネット出願の流れ

STEP3

検定料を支払う

(コンビニ・ペイジーを選択した場合のみ)

要注意

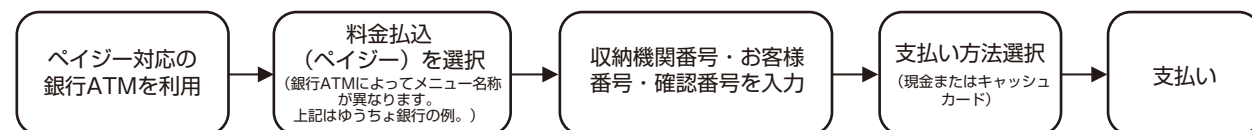
出願登録した翌日の23:59まで(出願登録期限日に出願登録した場合は当日の23:59まで)に、下記の通り検定料をお支払いください。上記の支払い期限を過ぎますと、登録された内容での検定料支払いができなくなります。

■コンビニ



お支払いになるコンビニによって操作方法が異なりますので、「学校一覧」から「大阪人間科学大学」を検索し、「はじめに」ページにある検定料のお支払方法に関する内容を参照の上、必要な情報のメモ等をし、支払い期限までに検定料を支払ってください。

■ペイジー（銀行ATM）



■ペイジー（ネットバンキング）

収納機関番号・お客様番号・確認番号を控え、各自で支払い方法を確認し検定料を支払ってください。

■払込手数料

入学検定料が3万円未満	600円（税込）
入学検定料が3万円以上	900円（税込）

- ・検定料の他に別途、払込手数料が必要です。
- ・ご利用の銀行によって、別途事務手数料が発生する可能性があります。
- ・検定料支払いの領収書は提出不要です。控えとして保管してください。

POINT③

入金が完了すると入金確認メールが通知されますので、必ず、ご確認ください。

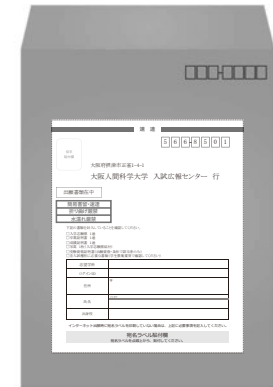
インターネット出願の流れ

STEP 4

出願書類を郵送する

入学志願票・封筒貼付用宛名ラベルを印刷

- ★支払い完了後、「出願内容一覧」から、入学志願票・封筒貼付用宛名ラベルを印刷してください。
- ★検定料の支払い後に届く、「インターネット出願 入金確認」メールに記載のURL、または出願ページ（Post@net）の「出願内容一覧」のいずれかにアクセスして入学志願票、封筒貼付用宛名ラベルをダウンロードし、ページの拡大・縮小はせずにA4で印刷してください。
- ★印刷した入学志願票と、各入試に必要な出願書類を同封して郵便局窓口から簡易書留・速達にて郵送してください。



市販の角2封筒に封筒貼付用宛名ラベルを貼り付けて必要書類を封入してください。

要注意

STEP 1～STEP 4を、すべて出願期間内に行うことによって、出願手続が完了します。
(出願登録・検定料支払い・出願書類提出のいずれかが出願期間内に行われなかった場合は、出願が受け付けられません。)
※出願の期限については、「出願期間」を十分に確認の上、できるだけ余裕をもって出願してください。

送付先
〒 566-8501
大阪府摂津市正雀1-4-1
大阪人間科学大学 入試広報センター行

インターネット環境が整っていない方の出願方法

パソコン・スマートフォンなどのインターネット環境が整っていない方は、以下の2つの方法での出願が可能です。どちらかの方法を選んで出願してください。

- (1) 大阪人間科学大学へ来学し、大学のパソコンを利用して出願を行う。
 - ・本学のパソコンを利用してインターネット出願を行います。来学の際は、事前に「氏名」、「来学予定時間」、「検定料の支払方法」を入試広報センターに電話で連絡の上、お越しください。
(月～金曜日8:45～17:15 土曜日8:45～14:45 ※日・祝日及び冬季休業中を除く。)
- (2) 入学試験出願申請書を提出し、代行入力により出願を行う。
 - ・「入学試験出願申請書」を請求、提出し、代行入力によりインターネット出願を行います。「入学試験出願申請書」は入試広報センターへ電話にてご請求ください。
(月～金曜日8:45～17:15 土曜日8:45～14:45 ※日・祝日及び冬季休業中を除く。)

STEP 5

デジタル受験票を印刷する

【受験票準備】 下記手順に従ってデジタル受験票を印刷してください。

※デジタル受験票のダウンロードは、試験日が設定されている週の木曜日（9:00）から可能です。
必要書類の受理が完了し、出願期間の締切が終了した後、本学にてデジタル受験票を一括して作成します。
インターネット出願時に志願者情報入力画面で入力したメールアドレス宛に「受験票ダウンロード案内メール」が届きます。

- ①Post@netへログインし「出願内容一覧」より大阪人間科学大学の「出願内容を確認」を選択し「デジタル受験票ダウンロード」をクリックして、PDFファイルをダウンロードします。
- ②①のPDFファイルをページの拡大・縮小はせずにA4で印刷してください。
- ③試験当日に必ず印刷したデジタル受験票を持参してください。

インターネット出願の流れ

STEP 6

合否結果の照会

- 合否結果の照会は合格発表日の18:00から出願ページ(Post@net)で確認することができます。下記手順に従って合否結果を確認してください。

- ・合格発表日に出願ページ(Post@net)へログインし、「学校一覧」から大学の「合否結果照会」を選択します。受験内容を確認し、間違いなければ「はい」をクリックして、合否結果を確認してください。

合格者には「合格通知書」及び「入学手続書類」を送付します。合格発表日から3日を経過しても入学手続書類等が届かない場合は、入試広報センター(TEL 06-6318-2020)に問い合わせてください。

また、不合格通知については上記の合否結果照会での発表をもってこれに代えますので、「不合格通知書」の送付は行いません。ご了承ください。

なお、「入学手続書類等の未着」以外の合否に関する問い合わせには、一切応じられません。

検 定 料

3年次編入学試験	30,000円
----------	---------

※一旦納入された検定料は返還しません。ただし、次の事由に該当する場合は申請により返還することがあります。

- (1) 検定料を納入したが、出願手続を完了しなかった場合
- (2) 出願が受理されなかった場合
- (3) 検定料を誤って二重もしくは過剰に納入した場合
- (4) 学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ等）に罹患して受験ができず、他の入試種別への受験の振替ができなかった場合

オープンキャンパス参加者への検定料5,000円減額制度について

インターネット出願時に、オープンキャンパス当日に配付する「オープンキャンパス参加者検定料減額制度番号」を入力して出願する場合、入試の検定料を5,000円減額します。

出願に当たっての主な注意事項

- (1) 出願後の入試種別の変更等は、一切認めません。
- (2) 調査書等の提出書類が旧姓（名）の場合は、婚姻など、姓（名）が変わった理由を記載した理由書を添付してください。
- (3) 書類に不備がある場合は、受理できないことがあります。
- (4) 一旦受理した書類は、いかなる理由があっても返還しません。

障がい等のある志願者の出願について

- (1) 障がい等のある方で、受験及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、入試広報センター（TEL 06- 6318-2020）に相談してください。（各入試種別の出願期間開始日の1か月前まで。）
- (2) 特別な配慮を希望する場合でもご希望に添えないことがあります。ご了承ください。

受験に当たっての主な注意事項

デジタル受験票について

- ① デジタル受験票は出願期間の締切終了後、一括して作成し、インターネット出願時に志願者情報入力画面で入力したメールアドレス宛に「受験票ダウンロード案内メール」を送信します。
- ② デジタル受験票は原則として、「受験票ダウンロード案内メール」の通知を受け取った後、試験日が設定されている週の木曜日(9:00)からダウンロードが可能となります。試験日の2日前までに「受験票ダウンロード案内メール」が届かない場合は、入試広報センター(TEL 06-6318-2020)までご連絡ください。
- ③ デジタル受験票に記載されている入試種別、住所、氏名等の内容に誤りがないか確認し、誤りがあれば入試広報センター(TEL 06-6318-2020)に申し出てください。

試験場の下見について

- ① 試験場の下見は、試験前日までにしてください。（試験場の下見は、原則として認められません。）
- ② 試験場は、デジタル受験票に記載して通知します。デジタル受験票に記載する所在地を確認してください。

試験当日の注意事項

- ① デジタル受験票は試験当日までに印刷(A4サイズ)し、試験当日に必ず持参してください。（試験終了後、デジタル受験票はそのまゝお持ち帰りください。合否結果照会の際に受験番号が必要となります。）
- ② 試験当日は、集合時間(試験開始20分前)までに各自指定された試験室に入室し、机の上の受験番号がデジタル受験票の受験番号と同一であることを確認して、着席してください。
- ③ デジタル受験票を持参し忘れた場合には、受付に申し出て仮受験票の交付を受けてください。
- ④ 試験開始時刻に遅刻した場合は、原則として試験開始時刻後20分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
- ⑤ 自動車、バイク等での試験場構内への乗り入れを禁止します。
- ⑥ 学校保健安全法で出席停止が定められている感染症(インフルエンザ、麻疹、水痘、新型コロナウイルス等)の感染防止のため、発熱・咳等の症状がある場合は、あらかじめ医療機関での受診をお願いします。

試験時間中の注意

- ① デジタル受験票は、必ず机の上に置いてください。
- ② デジタル受験票のほか試験時間中、机の上に置けるものは、「黒鉛筆(HB・B・2B)」、「プラスチック製の消しゴム」、「鉛筆削り(電動式を除く。）」、「時計(計時機能だけのもの。）」、「眼鏡」です。
- ③ アラーム機能のついた時計は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除してください。
- ④ 携帯電話・スマートフォン・スマートウォッチ等の音の出る機器は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切ってかばん等に入れておいてください。アラームは、設定を解除しないと電源を切っていても鳴ることがありますので十分注意してください。
なお、試験時間中にかばん等の中で携帯電話の着信音やマナーモードの振動音などが発生した場合には、監督者が本人の了解を得ずにかばん等を試験室外に持ち出し、試験場本部で当該試験時間終了まで保管します。
- ⑤ 「耳せん」は、監督者の指示等が聞き取れないことがありますので使用できません。
- ⑥ 試験室内で、コート類を着用しても差し支えありません。英文字等がプリントされている上着等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでもらうことがあります。
- ⑦ 「ハンカチ」「ティッシュペーパー」「座布団」「ひざ掛け」「目薬」の使用を希望する者は、監督者に申し出て許可を受けてから使用してください。
- ⑧ 試験時間中に写真照合のためにマスクを外すよう指示があった場合は、マスクを一旦外してください。
- ⑨ 解答用紙の所定欄に受験番号等を監督者の指示に従い、必ず記入してください。受験番号が正しく記入されていない場合は、採点できないことがあります。
- ⑩ 試験時間中は、退室を認めません。試験中の発病又はトイレ等やむを得ない場合には、手を挙げて監督者の指示に従ってください。
ただし、一時退室が認められた場合でも、試験室以外での受験はできません。また、一時退室した分の試験時間の延長も認められません。
- ⑪ 試験時間中は、監督者の指示に従ってください。
- ⑫ 不正行為については、警察に被害届を提出する場合があります。

入学手続時納入金及び学費等【令和8年度（2026年度）予定】

人間科学部／社会創造学科

区分	科 目	3年次編入学所要経費			4年次所要経費 (年額)
		入学手続時納入(前期)	10月納入(後期)	年 額	
学 費	入 学 金	200,000円	—	200,000円	—
	授 業 料	445,000円	445,000円	890,000円	890,000円
	施 設 費	100,000円	100,000円	200,000円	200,000円
	小 計	745,000円	545,000円	1,290,000円	1,090,000円
諸経費	教育後援会費	30,000円	—	30,000円	—
	関係会費	—	—	—	—
	学友会費	5,000円	—	5,000円	—
	小 計	40,000円	0円	40,000円	5,000円
合 計		785,000円	545,000円	1,330,000円	1,095,000円

①社会創造学科の入学生については、入学時にノートパソコンの準備が必要です。(P.17参照)
②上記所要経費のほか、3年次に卒業アルバム代、4年次に同窓会費(30,000円)及び卒業記念パーティー費用が必要です。(同窓会費は終身会費です。)
※卒業アルバム代、卒業パーティー費用については入学後に配布する学生便覧をご確認ください。
※入学手続時納入金及び学費等については予定であり、変更の可能性があります。

人間科学部／社会福祉学科

区分	科 目	3年次編入学所要経費			4年次所要経費 (年額)
		入学手続時納入(前期)	10月納入(後期)	年 額	
学 費	入 学 金	200,000円	—	200,000円	—
	授 業 料	445,000円	445,000円	890,000円	890,000円
	施 設 費	100,000円	100,000円	200,000円	200,000円
	教育充実費	5,000円	5,000円	10,000円	10,000円
諸経費	小 計	750,000円	550,000円	1,300,000円	1,100,000円
	教育後援会費	30,000円	—	30,000円	—
	関係会費	—	—	—	—
	学友会費	5,000円	—	5,000円	—
諸経費	小 計	40,000円	0円	40,000円	5,000円
合 計		790,000円	550,000円	1,340,000円	1,105,000円

①取得を希望する資格等により実習費が必要です。(P.16参照)
②上記所要経費のほか、3年次に卒業アルバム代、4年次に同窓会費(30,000円)及び卒業記念パーティー費用が必要です。(同窓会費は終身会費です。)
※卒業アルバム代、卒業パーティー費用については入学後に配布する学生便覧をご確認ください。
※入学手続時納入金及び学費等については予定であり、変更の可能性があります。

人間科学部／子ども教育学科

区分	科 目	3年次編入学所要経費			4年次所要経費 (年額)
		入学手続時納入(前期)	10月納入(後期)	年 額	
学 費	入 学 金	200,000円	—	200,000円	—
	授 業 料	445,000円	445,000円	890,000円	890,000円
	施 設 費	100,000円	100,000円	200,000円	200,000円
	教育充実費	13,000円	13,000円	26,000円	26,000円
諸経費	小 計	758,000円	558,000円	1,316,000円	1,116,000円
	教育後援会費	30,000円	—	30,000円	—
	関係会費	—	—	—	—
	学友会費	5,000円	—	5,000円	—
諸経費	小 計	40,000円	0円	40,000円	5,000円
合 計		798,000円	558,000円	1,356,000円	1,121,000円

①「教育実習(幼稚園)」「保育実習I」「保育実習II」に係る実習費は教育充実費に含みます。
②上記所要経費のほか、3年次に卒業アルバム代、4年次に同窓会費(30,000円)及び卒業記念パーティー費用が必要です。(同窓会費は終身会費です。)
※卒業アルバム代、卒業パーティー費用については入学後に配布する学生便覧をご確認ください。
※入学手続時納入金及び学費等については予定であり、変更の可能性があります。

心理学部／心理学科

区分	科 目	3年次編入学所要経費			4年次所要経費 (年額)
		入学手続時納入(前期)	10月納入(後期)	年 額	
学 費	入 学 金	200,000円	—	200,000円	—
	授 業 料	445,000円	445,000円	890,000円	890,000円
	施 設 費	100,000円	100,000円	200,000円	200,000円
	小 計	745,000円	545,000円	1,290,000円	1,090,000円
諸経費	教育後援会費	30,000円	—	30,000円	—
	関係会費	—	—	—	—
	学友会費	5,000円	—	5,000円	—
	小 計	40,000円	0円	40,000円	5,000円
合 計		785,000円	545,000円	1,330,000円	1,095,000円

①取得を希望する資格等により実習費が必要です。(P.16参照)
②上記所要経費のほか、3年次に卒業アルバム代、4年次に同窓会費(30,000円)及び卒業記念パーティー費用が必要です。(同窓会費は終身会費です。)
※卒業アルバム代、卒業パーティー費用については入学後に配布する学生便覧をご確認ください。
※入学手続時納入金及び学費等については予定であり、変更の可能性があります。

社会人授業料特別減額制度について

入試種別を問わず、入学年度の4月1日現在の年齢が満30歳以上、満44歳以下の入学者は年間授業料の半額、満45歳以上の入学者は年齢×10,000円(減額の上限は年間700,000円)を年間授業料から2年間減額します。

(例)

入学年度の4月1日現在の年齢が満55歳で、入学する場合

890,000円
(通常の年間授業料)

－

550,000円
(減額)

=

340,000円
(年間授業料)

納入金の返還について

本学では、3年次編入学試験、3年次編入学試験(社会人)の合格者で、すべての入学手続が完了した者であっても、令和8年3月31日(火)までに入学辞退届の提出(郵送による提出の場合、3月31日必着)があった場合、入学金を除いた授業料等の納入金を返還します。
なお、入学金(200,000円)は、いかなる理由があっても返還いたしません。

奨学金制度

日本学生支援機構

日本学生支援機構による奨学金制度

1. 貸与型奨学金(返還の必要あり)

①第一種(無利子貸与)

②第二種(有利子貸与)

- 募集時期 4月 ※9月にも募集することがあります。
- 選考方法 学内で書類審査し、日本学生支援機構に推薦(最終選考は日本学生支援機構)
- 貸与金額
 - 第一種 自宅通学者 月額2万円、3万円、4万円、5万4,000円
 - 自宅外通学者 月額2万円、3万円、4万円、5万円、6万4,000円
 - 第二種 月額2万円～12万円(1万円単位)から選択が可能
- 返還方法 卒業後、口座振替で月賦、月賦・半年賦併用または年収に応じて算出された返還額(第一種のみ)のいずれかから選択(日本学生支援機構の規程)

2. 給付型奨学金(原則、返還の必要なし)

- 給付金額 自宅通学者 月額9,600円、1万2,800円、2万5,600円、3万8,300円
- 自宅外通学者 月額1万9,000円、2万5,300円、5万600円、7万5,800円
- 条 件 学業成績等が一定の基準を満たしていること。併せて家計の基準もあります。

その他の奨学金

その他、地方自治体(都道府県・市町村)の奨学金制度や民間団体等の奨学金制度があります。募集案内があれば、随時、掲示にて連絡します。

実習費

学 科	実 習 種 別	実 習 費
社会福祉学科	ソーシャルワーク実習I(※現場体験学習)	1,500円
	ソーシャルワーク実習I	25,000円
	ソーシャルワーク実習II	58,500円
	精神保健福祉援助実習	60,000円
心理学科	教育実習(中学・高校)	40,000円
	特別支援教育実習	20,000円
	介護等体験	13,000円
	公認心理師実習	64,000円

※ 上記以外に諸経費として交通費・食事費(給食代)が必要となる場合があります。
※ 実習費については参考であり、変更の可能性があります。

社会創造学科のノートパソコン必携について

社会創造学科では、現代社会を理解し、その中に存在する社会課題を発見・解決しつつ、新しい未来型社会を提案・表現できる人材を養成することを目的としています。

具体的には、課題解決のアイデアを提案に結び付けるプランニングスキルや、映像制作やICT活用などを通じて説得力の高いコンテンツを作成し、発信する表現技術を身に付けることなどを目指しています。

大学での授業を円滑に受講するため、以下の大学推奨スペックに沿って、各自専用のノートパソコンを準備していただきますようお願いします。

大学推奨スペック

OS	Windows11 Home以上
CPU	Intel Core i5以上必須 ※i7以上を推奨
メインメモリ	8GB以上必須 ※16GB以上を推奨
SSD/HDD	512GB以上必須 ※1TB以上を推奨
グラフィック (GPU)	RTX3050/RTX (8GB) 以上を推奨 ※Intel® Iris® Xe Graphics以上の内蔵GPUでも可
Webカメラ	内蔵のものが望ましい
マイク・スピーカー	内蔵もしくはヘッドセット
画面解像度	Full HD (1920×1080) 以上
バッテリー	標準搭載のもので8時間以上連続稼働するもの
無線ネットワーク	Wi-Fi5 (IEEE802.11ac) 対応
ディスプレイ	13.3インチ以上

ソフトウェア

オフィスソフト	Microsoft office (Word, Excel, PowerPoint) 等の最新版のオフィスソフトを実装することが望ましい ※在学中はGoogle Workspaceは利用可能
Adobe Creative Cloud	入学後に学生・教職員版Adobe Creative Cloudコンプリートプランの契約を行う

教育ローン

- (1)国の教育ローン(日本政策金融公庫)
- ①融 資 額

学生1人につき350万円以内
- ②返済期間

18年以内
- ③返済方法

毎月元利均等返済(ボーナス月増額返済も可能)
- ④申 込 み

日本政策金融公庫のほか、銀行、信用金庫、信用組合など窓口でも取り扱っています。
詳しくは、教育ローンコールセンター TEL 0570-008656 に問い合わせてください。

- (2)オリエントコーポレーション学費サポートプラン
- 学費負担者に代わり、オリコが学費を一括納入し、毎月所定の金額を返済する制度です。
- ①ウェブ又は電話での申込みが可能です。(オリコへの来店不要)

②原則として住民票等の公的書類及び所得が確認できる資料は不要です。

③返済は口座振替で、新規の口座開設は不要です。(ゆうちょ銀行も可)
- 問合せ先／申込み先 オリコ学費サポートデスク TEL 0120-517-325

※上記ご案内はあくまで一例であり、ご利用については、学費負担者においてご確認ください。

Q & A

Q1 面接ではどのようなことを聞かれるのですか？

A1 本学への編入学を志願した理由や、充実した学生生活に向けての考え方などを聞きます。

Q2 編入学生が不利になることはありませんか？

A2 一般選抜などで入学した学生と比べ、編入学生が不利になることはありません。卒業に必要な必修科目等は、他の学生と同様ですが、各自の目的、志向に合わせて履修計画を立てて、将来の目標に向けて新たな能力を伸ばし、意欲的な取組によって、自分の可能性を更にひろげてください。

Q3 編入学後の授業についていけるのか心配です。

A3 編入学試験に合格し、入学後も意欲的に学ぶ姿勢があれば問題ないと考えています。また、編入学生向けのガイダンス等を行うことによって、安心して修学できるようにサポートします。

Q4 小論文の課題文方式とは、どのようなものですか？

A4 試験当日に発表される課題文を読み、それに関するテーマについて、600 字以上 800 字以内で論述する方式です。受験者本人の「論理力」「表現力」「課題に対する把握力」等を見るものです。

Q5 現在の姓と、提出書類の姓とが異なっているのですが、特別に必要な書類はありますか？

A5 卒業証明書等の提出書類が旧姓(名)の場合は、出願の際に「～により(旧姓)から(現姓)になった」などのように、姓(名)が変わった理由を記載した理由書を添付してください。(「戸籍抄本」等の書類は不要です。)

「個人情報の取扱いについて」

本学では、志願者から入手した個人情報の取扱いについて、下記のとおりとします。

(1)出願により入手した住所、氏名、その他の個人情報については、①出願に不備等があった場合の連絡 ②合否の連絡 ③合格した場合の入学手続書類や、入学宣誓式等の案内の送付・連絡 ④入学後の各種案内の送付・連絡 ⑤入学後のクラス編成、クラス名簿作成を行うために利用し、それ以外の用途には一切使用しません。

(2)個人を特定しない形での統計処理結果については、パンフレット、ホームページ等で公表します。